

目標達成計画

作成日: 令和3年9月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 運営推進会議の回数が多すぎて事務処理に困っている。会議も形骸化して参加を促すのに苦労する。 | 制度の廃止又は縮小(年2回程度)を訴えていくが、開催する以上は介護品質の向上に資するよう議題を工夫していく。 | 選挙のときに改訂を主張する候補に投票、業界団体でも提言する。機会を探してマスコミに訴える。 | 36ヶ月 |
| 2 | | 情報公表と外部評価と自主点検の項目が重複、事務手続きが大変煩わしい。 | 制度の廃止又は簡素化 | 外部評価のやり方が変更されると聞いたのでその動向を注視していく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 33 | 終末期の医療的対応について本人および家族との事前の話し合い。 | 終末期の利用者の意向はわからないので家族、医師、看護師、ケアマネ、介護員等の意見を尊重して対処する。 | 入所のときに当ホームの「終末期介護要綱」の趣旨を説明してあるが、終末期には再度関係者の意向を確認する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | 2002年度以来2020年度までの損益収支の累計が差引608万の赤字となっている。 | 資本金を1,000万に増額してから資金繰りは多少楽になったが損益収支には反映されない。今後これの改善に努める。 | 処遇改善加算、特定処遇改善加算は大変助かったが、損益収支の改善にはならないので、人件費、食材費以外の経費の節減を徹底する。 | 36ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。